

# 図書館だより

今月の新刊を紹介します。

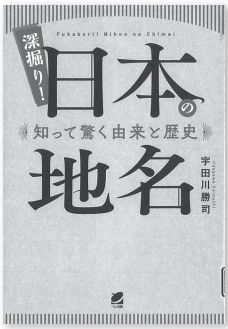
問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：4/4(月)・11(月)・18(月)・25(月)・28(木)

## 深掘り！日本の地名 知って驚く由来と歴史

(宇田川勝司、ベレ出版)



「近江」を「おうみ」と読むのはなぜか。「県名」はどのように決められたのか。大阪「なにわ」は漢字でどう書くか。日本人と地名のかかわりをはじめ、地名の由来、地名の決め方、地名に使われている文字などについて解説します。

## 身近なものの撮り方辞典100

身の回りのありふれたものや見慣れた光景を、魅力的な被写体にするコツ

(大村祐里子、玄光社)



足跡、落ち葉、壁、食器、夕暮れ、料理など。身近にあるものや情景を魅力ある被写体に変身させ、写真を作品へと昇華させる工夫やアイデアを、100のテーマごとに解説します。

## 5分間思考実験ストーリー キミの答えで結末が変わる

(北村良子、幻冬舎)



正解のない究極の2択を考え抜き、自分だけの答えを見つける思考ゲーム「思考実験」。「本当の私」「特等席のベッド」など、物語を読んで思考実験することで本当の考える力が身につく全15話を収録しています。

## はるいちばん

(青山友美、講談社)



風がぬるい。今日、風がかわった！「ひゅううー」と春をつげる風を追いかけて、わたしは走る。いちばんに、風をつかまえるために。そして…。季節のおとずれを大切に感じる、豊かな心を描いた絵本です。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示 「仕事特集」「あつまれ！ネコちゃん ワンちゃん」
- ▶こどもの読書週間 4/23(土)～5/12(木) ※期間中、しおりをプレゼントします。
- ▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。

# 歴史探訪

タルイピアセンター 収蔵品紹介

ながはらこうたろう そうしゆん  
長原孝太郎「早春」

この作品は、明治から昭和にかけて、洋画家として活躍した長原孝太郎が描いたものです。長原は、元治元年(1864)に不破郡岩手村に生まれ、東京で黒田清輝に師事して絵画を学びました。展覧会に多くの優れた作品を出品する一方、30年以上にわたって東京美術学校(後の東京芸術大学)で教鞭をとり、芸術家の育成に尽力しました。また、本の装丁や挿絵を多く手がけ、森鷗外ら文学人とも広く交流を持つなど、多彩な方面で活躍した、日本近代洋画を代表する画家の一人でした。



長原孝太郎「早春」

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円